

# 面白いeスポーツ 小学生が熱く戦う

eスポーツなどで街を盛り上げる安城市のイベント「ケンサチeフェス」が三日、同市御幸本町のアンフォーレであった。

イベントでは、仮想現実（VR）の技術を生かしeスポーツを発展させた、AR（拡張現実）スポーツとも呼ばれる「HADO（ハドール）」の大会が開かれた。頭に装着したディスプレイと腕に取り付けたセンサーを使い、三人一組で対戦する。市内の小学生の十

## 安城で「ハドール」大会

ハドールを体験する参加者たち＝安城市御幸本町のアンフォーレで



六チームが参加した。参加者たちは「エナジーボール」と呼ばれる光線などを放ち合いながら競技を

楽しんだ。優勝した「チームTMY」の梨の里小六年の笹倉愛実さん（三）は「作戦通りにいけてよかった」

と振り返った。

ほかに、愛知教育大の江島徹郎教授によるデジタルコンテンツとの関わり方に関する講演会や、プログラミング体験などもあった。

安城市は来年度の市制施行七十周年に向け、社会課題解決の手段としてデジタルコンテンツの活用を進める。健幸SDGs課の中屋敷俊幸さん（五）は「まずは市民のみなさんにeスポーツを知ってもらい、可能性を広げていきたい」と話した。（服部壮馬）